

かさおか

発行所

天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377
郵便番号714-0066
(0865)

電話 66-1311
FAX 66-1314



山陽自動車道・笠岡IC直近に建つ新山邑分教会
明治期より数多の先達が教会前の街道を往来した

立教180年
5月号

本部婦人会総会開催

詰所で「前夜の集い」開催
婦人会



大教会長様です↑

会場が一体となっちんぐ



支部長を先頭に恋ダンス



大盛況の物産展



超イケメンによる舞楽



模擬店もいろいろ



教祖伝44「雪の日」



婦人だけではなかった



キレの良いストレッチ指導

去る4月19日、天理教婦人会第99回総会が午前9時30分より本部中庭に於いて開催され、あたたかい日さしの下、大勢の帰参者でうめつくされた。これにむけ、婦人会笠岡支部(上原きよ紀支部長は、18日午後7時より、

前夜の集いを開催、笠岡詰所大広間に約230人が参集した。集いは上原支部長の挨拶から始まり、恋ダンス、島根青年会による雅楽・舞楽、おやさま逸話劇、ストレッチと趣向をこらし賑やかに繰り広げられ、続いて、各ブロックからの物産店・模擬店が同会場で営まれた。笑顔、時に涙、黄色い大歓声と翌日の婦人会総会を勇んで迎える心の糧となった。

育成掛(中島誠治主任)は、4月21日祭典終了後、午後1時15分から会議室で「よふぼく勉強会」を開催、約20人が参加した。テーマは「仕事に生かす信仰」。

よふぼく勉強会開催 テーマは「仕事に生かす信仰」

4月月次祭後

育成掛

講師の山田睦浩先生(甲井分教会長)は教会長の傍ら、世羅町、町議会議員として地域に貢献してゆく立場になるまでの経緯を話された。先生は地元の高校を卒業、専修科に入学、卒業後、詰所で青年づとめをし、その後、地元に戻ってサラリーマンをしながら、青年団また消防団に入る事で、人との交流を深めていかれた。平成13年に結婚。3男1女を授かり、長男が入学すると同時にPTA活動

に参加。平成23年、PTA会長に就任。今年で6年目。保護者達に対しては、PTA活動を通して自らが親として育つ様、この活動に携わってほしいと強調されている。そうした活動の最中に議員の推薦を受け、再三再四断ったが、地元選出の議員がいらないという事もあり、家族と相談の上、引き受けられた。若い時には、このお道から外れそうになった時もあったが、親々の徳分になつた時もあつたが、親々の徳分に在り、今現在がある事に感謝して、生まれ育つたこの土地で、いろいろな活動に参加させて頂く事で、それがに在り、今現在がある事に感謝して、締めくくられた。



立場を生かしたに在りがけを



おちばで学ぶ学生達



楽しく室内レクリエーション



絆を深めた集合写真



伐採、草刈りをする青年会員



勇んで声高らかに神名流し

**「親里管内
学生親睦会」開催**
4月23日・笠岡詰所
学生担当委員会

笠岡学生担当委員会(山野弘実委員長)は、4月23日、笠岡詰所で親里管内学生親睦会を開催した。この日は、天理大学、天理高校、教校学園、白梅寮(奈良保育学院)の学生生徒ら、16人が参加した。

親睦会では、まず山野委員長が、おちばで学ぶ事に感謝し、笠岡の仲間の絆を大切にしたいと挨拶をした。その後は、参加者全員でバーベキューの準備をし、会食の時間となった。午後からは、大学生が主体となって、室内レクリエーションを行い、大いに盛り上がった。

同委員会では、教会長子弟育成委員会と連携して、今年2月に親里管内学校受験世話取りを実施。その効果もあつてか、親里の学生同士が大変仲良く、今回の親睦会も大変有意義なものとなった。

**「有志
ひのきしん隊」実施**
青年会

青年会笠岡分会(上原明勇委員長)は、5月6、7の両日、島根分教会で有志ひのきしん隊を実施した。今回は、島根分教会の飛び地の整備を行い、青年会委員や会員をはじめ、同分教会に繋がる教会長、用木など約20人が参加した。

現場は約7000坪という広大な場所であったが、草木が鬱蒼と生い茂っており、チェーンソー6台や草刈り機を駆使して、少しずつ整備を進めていった。

両日とも汗ばむ程の気温の中、参加者それぞれが作業を分担して、勇んでひのきしんにあたり、広場が一つ確保できるまで伐採が進んだ。

また7日の朝に、あらかじょうより一斉にをいがけデーとして(本来は第2日曜日)、島根分教会周辺で神名流しを実施した。

四月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいませ

親神天理王命の御前に 会長上原理一 慎んで申し上げます

親神様には 人間の陽気ぐらしする状を見て共に楽しみたいとの思召から この世と人間をお創造り下さりご守護下さっております 加えて旬刻限の到来と共に教祖を月日の社としてこの世の表へお現れになり 万一切を明かされて陽気ぐらしへとお導き下さっております事は 誠に有り難く勿体ない限りでございます

私共は日々親心と御守護に感謝すると共に世界一列を助けたいとの思召にお応えすべく 朝夕に御礼申し上げつつたすけ一条のご用の上に努め励ませて頂いております その中先日四月十八日は教祖の二百十九回目のお誕生日を大勢の帰参者と共にお祝いさせて頂き 続いて十九日には第九十九回の婦人会総会にも参加させて頂き 春爛漫のおちばで心新たににいがけおたすけの実働を誓い合わせさせて頂きました

又本日は此の笠岡大教会の四月の御祭り日でございますので 只今からおつとめ奉仕人一同 喜び感謝とたすけ心も一人に 明るく陽気に勇んで坐りつとめてをどりをつとめて四月の月次祭を執り行わせて頂きます 御前には春爛漫の陽気に誘われ今日の日を楽しみに寄り集いました道の子供達が 同じ思いに伏し拝み声高らかにお歌を唱和する皆の真実の状をご覧下さいまして 親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

さておさしづで「ひながたの道を通らねばひながた要らん」とも「ひながたの道より道無いで」ともお聞かせ頂きます 次の塚を指すに当たって改めて「ひながたなおせばどうもなろうまい」にならないようしっかりと「ひながた」を見つめ直し 成人の道を迎らせて頂く覚悟でございます 又来月は直轄教会への巡教月でございます 年頭に定めた心を思い返し 心も新たに心定め完遂めざし「ひながた」の道を邁進させて頂く所存でございます 更には又今月二十九日は全教一斉ひのきしんデーでございますので 日頃の感謝の心を 結集して声を掛け合いひのきしんに励ませて頂く所存でございます

何卒親神様には 世界たすけの親心にお応えし陽気ぐらしに向かう「ひながた」を辿る皆の真実の心を受け取り下さいまして 万たすけの上にも尚も自由のご守護を賜り「ご恩報じを念じたすけ一条に邁進する人が弥増して お望み下さる陽気づくめの世の状に一日も早くお導き下さいますよう 一同と共に慎んでお願い申し上げます

こころの詩

笠岡の教友が選ばれ掲載されてきましたので転載いたします。(敬称略)

▼『天理時報』

▽4月23日付 「時報歌壇」

・海松ヶ岡◎ 池田広子さん

一面の菜の花畑を背景に

犬もいっしょに「はいポーズ」

▼『陽気』誌5月号「道柳」より転載。

▽准秀詠

・東悠◎ 田林美智子さん

月影に真摯に祈る友の幸

▼表紙写真

(杉原博之かさおか編集掛主任)

大教会だより

辞令

立教180年4月21日付

登用

理事	上原 明 勇
幹部承事	武内 正 美
准承事	岡田 誠
青年	谷内 秀 自
おつとめ奉仕人	山野 なつ
	田中 つかさ

教会指令

任命願

久松 分教会	
*前任	中村 剛
*新任	中村 剛 史



中村剛史氏

奉告祭

立教180年5月14日
立教180年4月26日承認

立教百八十年 四月月次祭 祭典役割表

胡弓	三味線	琴	小鼓	すりがね	太鼓	拍子木	ちゃんぽん	笛	役割										講話	祭主		扨者																																																		
									区分											山野弘実	中島誠治	大教会長様	吉岡誠一郎																																																	
てをどり										おつとめ														地方		六月講話		賛者		指図方																																										
坐り勤										前半										後半		三島渉		山田敏教		虫明立生		吉岡壽																																												
佐藤香苗	今川智子	虫明好美	中村義太郎	中島誠治	谷内伸自	森本忠平	三島渉	今川昌彦	門脇郁子	田中ますみ	大教会奥様	吉岡壽	上原繁道	上原繁道	佐藤道孝	内海史郎	杉原博之	門脇元教	山野弘実	中村邦義	菅尾正治	浅野明教	田中隆之	岡崎真一	吉岡誠一郎	武内正美	岡崎和美	吉岡八恵	上原繁次	虫明立生	山田敏教	森本忠善	田林久嗣	今川昌彦	谷内美知子	三島照美	中村初美	高木孝子	森本富美子	岡崎豊子	赤木素志	高木昭祥	武内清明	上原繁次	渡邊隆夫	上原浩	門脇加津	内海安子	上原順子	中村道徳	上原志郎	佐藤道孝	内海史郎	山野弘実	中村邦義	菅尾正治	浅野明教	田中隆之	岡崎真一	吉岡誠一郎	武内正美	岡崎和美	吉岡八恵	上原繁次	虫明立生	山田敏教	森本忠善	田林久嗣	今川昌彦	谷内美知子	三島照美	中村初美

◎教会長資格検定講習会修了者
立教180年5月19日終講

皆部 河原喜一郎

◎本部食堂ひのきしん

自 立教180年5月1日
至 立教180年5月15日
福廣 鳥井洋志

◎教祖誕生祭(婦人会総念)

詰所受入ひのきしん
自 立教180年4月17日
至 立教180年4月19日

東 .. 照陽剣持秀子
西 .. 品治渡邊フサ子
福山 .. 福春北村保
高屋 .. 稻倉藤井宏一
島根 .. 照雲雜賀元生
上府 .. 上下秋山いう子
*他、大勢の有志の方々ひのきしん
下さいました。

◎立教180年直轄教会定期巡教

福山 上原明勇
高屋 田中隆之
神邊 大教会奥様
島根 大教会長様

久松 武内正美
鶴山 上原明勇
弥高 大教会長様
陽備 門脇元教
摩耶 上原明勇
金浦 中村邦義
興明 佐藤道孝
ひろさと 大教会奥様
陶山 吉岡壽
芳井 上原明勇
呉照 田中隆之
海松ヶ岡 吉岡壽
東悠 上原繁道
吸江 大教会長様
照陽 佐藤道孝
輝美濃 上原繁道
新山邑 武内正美
皆部 大教会奥様
明石市 上原繁道
府中市 門脇元教
東城市 佐藤道孝
服部 大教会奥様
島中 中村邦義
驛家 田中隆之
油木 中村隆之
葦陽 門脇元教
湯田原 中村初美

備中 上原 明 勇
 神昭 上原 繁 道
 美之郷 吉岡 繁 壽
 錦備 大教会 長 様



先日、町内の防犯・防災の部長とい
 う立場から災害時の避難行動をリアル
 にとらえた防災教育の集会に参加し
 た。地域のコミセン所長、自治会長、
 防災リーダー等の参加。

色々な人の立場に立ち、災害を疑似
 体験することで、災害時避難行動の大
 変さを実感すると共にそこに存在する
 様々の問題を明らかにし今後自分たち
 がどのような備え(意識、コミュニテイ
 構築)をしておく必要があることを考
 えるもの。自分のことだけでなく他者
 の立場を考え得る力が必要なのです。
 私はどんな立場になるのかカードを引
 いた。なんと「タイの女性、日本人と
 国際結婚で日本のアパートの1階に住
 み主人は海外勤務、1才の子供を持ち、
 妊娠3ヶ月、地域の付き合いは無くて
 日常会話がやっと」……。オイオイ70

を過ぎたおつちゃんはどうしようか？
 この立場は無理やろう……。しかし想
 像力はあるよ。「私は新婚のタイのう
 ら若い若奥様だよ。ヒヒヒッがんばる
 ぞ」笑いは余計です。

そこへ、災害通知あり。レベルは1・
 2・3・4まである。4になるともう大
 水害、大地震での家屋倒壊、それでも
 避難所に避難しない立場の人もある。
 一つには身体が不自由で動けない。飼
 い犬がいるので避難所に行けない
 等々。私なら教会を守って動かない。
 しかし私は今、タイの1才の子供とお
 腹に赤ちゃんが居る、1の段階で避難
 所に即向かう。そこでも問題が発生す
 る。……係員にこう言われるのです。
 「妊娠のお腹が痛んでくる！ どうし
 よう？ 救いを求める。しかし会話が
 うまく通じない、お医者さんも居ない
 し、近くに病院はない」……。いや実
 に頭の中は既に問題を解決するために
 パンク状態になった。阪神淡路大震災
 の被害を受けた身にとって教会長とし
 て我がことばかりでなく他者をおもん
 ばかることの大切さを痛感した貴重な
 経験だった。

(ひ)

昭和55年 (1980年) 立教143年

- 7・26 子どものおちばがえり第一団出発(高幡 二九日まで)
- 7・29 子どものおちばがえり第二団出発(福山 八月一日まで)
- 7・31 子どものおちばがえり第三団出発(神邊 八月三日まで)
- 8・1 子どものおちばがえり第四団出発(高屋・久松 四日まで)
- 8・5 第二十五回英語講習会開催(一一三人)
- 8・22 梶本まさみ先生を迎え婦人会女鳴物講習会開催(三四人)
- 8・23 二かん様に続く会開催(三四人)
- 8・26 富松義晴先生を迎え教会長講習会開催(二三人)
- 9・21 布教実修要員研修会開催
- 9・25 山田おあや先生を迎え婦人会委員長研修会開催(二三人)
- 9・26 陽備分教会五代会長虫明好美任命(四代会会長虫昌平出直)
- 10・2 就任奉告祭：十一月九日
- 10・2 大教会准承事・照陽分教会二代會長中村英夫出直(五十九歳)
- 10・26 大教会長長男・上原理一本部青年に登用
- 10・26 弓ヶ濱分教会移転建築
- 旧所在地：鳥取県米子市大篠津町九百五十四番地
- 新所在地：鳥取県米子市大篠津旭が丘の二
- 遷座祭：十月二十八日
- 鎮座祭：昭和五十六年三月六日